

【るもい農業情報広場】

令和2年 8月 1日 R2-8月号

## 今月の技術対策 (畜産編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

暑さが続く夏期は、暑熱ストレスにより採食量が著しく低下し、乳量・繁殖成績の低下や乳房炎が多発しやすい時期です。早めの対策を講じましょう。

### 1 暑熱対策

- (1) 暑熱ストレスを軽減するため、換気や送風、遮光などによる牛舎内の温度や湿度対策を徹底しましょう。換気扇がない場合は牛舎の窓を取り外し、畜舎内の換気量を増加させましょう。
- (2) 給水施設の吐水量確認、清掃をこまめに行い、いつでも新鮮な水が十分飲めるように管理を行いましょよう。
- (3) 嗜好性、消化性の高い良質粗飼料を給与するとともに、塩分やミネラルの給与に留意しましょう。

### 2 繁殖管理

- (1) 暑熱対策により体温の上昇を抑え、受胎率の低下を防ぎましょう。
- (2) 発情徴候が微弱になる牛もいるので、発情予定牛をリストアップして観察回数を増やしましょう。
- (3) 乾乳牛および分娩前後の管理は、繁殖に大きく影響します。周産期病の予防に加え暑熱対策を行い、分娩前後のトラブルを防ぎましょう。

### 5 農場の衛生管理

- (1) 農場の出入り口に石灰を撒き、消毒ゾーンを設けましょう。畜舎の出入り口に踏み込み消毒槽を設置しましょう。
- (2) 畜舎内に野生鳥獣が侵入しないように防鳥ネット等を設置しましょう。
- (3) 今後発生をピークを迎えるハエ（イエバエ・サシバエ）には、乳房炎やその他の感染症を伝播する危険性があります。そのため、牛舎内の清掃や牛舎周辺の整備、イヤータッグの装着や駆虫薬、ハエ用殺虫剤等で予防しましょう。

**農作業安全・無理な作業を控えて適度な休憩、休息をとりましょう**